

1 学校教育目標

考える子（知） 心豊かな子（徳） たくましい子（体）

2 めざす学校像、児童・生徒像、教師像

○学校像	・学力の向上に取り組む学校	・居心地のよい学校づくりに取り組む学校	・体力向上に取り組む学校
○児童・生徒像	・考える子	・心豊かな子	・たくましい子
○教師像	・授業改善を推進する教師	・児童の可能性を引き出す教師	・子供と共に汗を流す教師

3 学校の現状及び前年度の成果と課題

[学校の現状]
 ○児童について 挨拶など気持ちよく行うことのできる児童が多い。その一方、校内外での生活指導上、問題行動の見られる児童がいる。
 ○教師について 若い教員や経験年数の浅い教員が多い。教科の専門性が高い教員が少ないので、その点意識改革をしていく必要がある。
 ○保護者・地域について 家庭や地域は学校に対し概ね協力的である。各種行事のアンケートを見ても、ほとんどの家庭が肯定的に受け止めている。

[前年度の成果と課題]
重点的な取組事項－1
 ・4月の区学力調査の通過率は国語 81.2%・算数 81.5%と、どちらも目標値の80%を上回ることができた。
 ・定着度テストにおいて全学級正答率80%以上は達成できなかった。AIドリルを活用した繰り返し学習などを効果的に取り入れていく。

重点的な取組事項－2
 ・「基本的な生活習慣」に関しては全学年80%以上の児童が肯定的な回答をし、意識として根付いている。日々の生活の中でさらに意識を高めていく。
 ・「自己肯定感」の低い児童が多い。家庭と連携しながら一人一人の良さを伸ばす指導を実践していく。

重点的な取組事項－3
 ・都の体力調査の結果では都の平均値を上回る項目が増えてきた。さらに上を目指し年間を通じた体力向上の取組を実践していく。

4 重点的な取組事項

	内 容	実施期間（年度） R:令和				
		R3	R4	R5	R6	R7
1	学力向上アクションプラン	○	○	○	○	○
2	豊かな心の育成	○	○	○	○	○
3	健やかな体の育成	○	○	○	○	○

5 令和5年度の重点目標

重点的な取組事項－1		学力向上アクションプラン							
A 今年度の成果目標		達成基準 (目標通過率)		実施結果 (通過率結果)		コメント・課題		達成度 ◎○△●	
基礎学力の定着率向上と授業の質の向上を図る。		4月目標 両教科 85%以上 年度末目標 両教科 80%以上							
B 目標実現に向けた取組み									
新・継	アクションプラン	対象学年 実施教科	頻度・ 実施時期	具体的な取組み内容 (誰が、何を、どのように)	達成確認 方法	達成目標 (=数値) (いつ・何を・どの程度)	実施結果	コメント・課題	達成度 ◎○△●
1 継続	朝学習	全児童 国・算	毎週 火～金 曜実施 始業前 15分	【指導者体制】 担任 【取組のねらい・目的】 学習内容の復習・確認 【使用教材】 AIドリル(Qubena)・自作教材 等	日々の授業 単元テスト等 到達度確認テ スト	年間を通じ、全 学年の漢字テス ト・計算テスト等 の正答率平均8 0%以上。			
2 継続	放課後 補習	全学年 国・算 補習を必 要とする 児童	通年 放課後	【指導者体制】 全教員 【取組のねらい・目的】 基礎的・基本的な内容の定 着、現学習単元の補充 【使用教材】 既習内容のプリント・AIドリル (Qubena)等	日々の授業 単元テスト等 到達度確認テ スト	2月の確認テス トで国語・算数 共に正答率を1 0%以上アップさ せる。			
3 継続	AIドリル (Qubena)・I CT機器の 活用 [授業改善]	全学年 全教員	通年 授業の 中で計 画的に 活用	【指導者体制】 全教員 【取組のねらい・目的】 ICT機器を活用し、わかる授 業・児童が主体的に学ぶ授 業を行う。 【使用教材】 ICT機器・AI ドリル(Qubena) 等	週案等で活用 状況を確認	1日1回以上 AI ドリル・ICT 機器 を活用した授業 を行う。			

4 継続	授業力 向上	全教員 全教科	通年	【指導者体制】 全教員 【取組のねらい・目的】 主体的・対話的で深い学び の実現に向け、指導方法に ついて研究する。 経験年数5年未満の教員 は、教科指導専門員の指導 を受け、指導力の向上を図 る。	児童意識調査	区調査の「学校 での授業がわか る」「学校の授業 は楽しい」の項 目に肯定的に 回答した児童8 0%以上			
5 継続	小中連携	全教員 全教科	通年	【指導者体制】 全教員 【取組のねらい・目的】 研究授業を行うことで指導力 の向上を図る。 分科会ごとに研究授業を行 う。	児童意識調査	区調査の「学校 での授業がわか る」「学校の授業 は楽しい」の項 目に肯定的に 回答した児童8 0%以上			

重点的な取組事項－2		豊かな心の育成			
A 今年度の成果目標		達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度
児童の豊かな人間性を育成する。		目標実現に向けた取組の実施結果が 4項目とも「おおむね達成」以上			
B 目標実現に向けた取組み					
項目	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
道徳教育・特別活動 の充実	・意識調査の「自己肯定 感」の項目で80%以上の 児童が肯定的回答	・道徳の授業を中心とした全教 育活動における質の高い道徳 教育の実践。 ・年間35時間以上、道徳の授 業の確実な実践。 ・行事への児童の主体的な関わ りと、事前事後指導の実践。			

いじめ防止 不登校への早期対応	<ul style="list-style-type: none"> ・年度末でのいじめ解消率100%。 ・不登校0、少なくとも前年度より減 ・「学校は楽しい」の調査項目で80%以上の児童が肯定的回答 	<ul style="list-style-type: none"> ・人権教育プログラムを用いた人権に関する研修の実施。 ・毎週金曜に生活指導夕会を実施し情報を共有。 ・全教員での生活指導全体会を実施し情報を共有。 ・関係機関との連携。 			
「みそあじ」の徹底	<ul style="list-style-type: none"> ・意識調査の「基本的生活習慣」の項目で90%以上の児童が肯定的回答 	<ul style="list-style-type: none"> ・「身だしなみ、掃除、挨拶、時間を守る」の項目について、全校統一して指導をする。 			
読書活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> 年間読書冊数、全校で4万冊以上 図書貸出冊数、全校で2万冊以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館支援員、副校長補佐、SSSによる、休み時間等の図書貸出の充実 			

重点的な取組事項－3					
A 今年度の成果目標		達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度
自らの健康と体力の向上を目指す児童を育成する。		目標実現に向けた取組の実施結果が、3項目とも「おおむね達成」以上			
B 目標実現に向けた取組み					
項目	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
体力や運動能力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・都の体力調査で「投力」「50m走」の項目で都の平均値以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・持久走旬間、短縄・長縄旬間等の体育的行事の年間を通じた取組。 ・体力を高めるための環境作り。 ・休み時間の外遊びの励行。 			
体育の授業の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・意識調査の「体育が好き」の項目で90%以上の児童が肯定的回答 ・都の体力調査の数値向上(前年比) 	<ul style="list-style-type: none"> ・研修等を通じた体育科授業における指導方法の改善と、運動に親しめる環境や用具の工夫。 			

保健指導・食育指導の充実	・意識調査の「食事」や「睡眠」等に関する項目で90%以上の児童が肯定的回答	・保健指導や食育指導の充実。 ・養護教諭や栄養士と連携した授業の実施。 ・保護者会や各種便りを活用した保護者への啓発。			
--------------	---------------------------------------	---	--	--	--

6 まとめ

(1) 今年度の成果と次年度に向けた課題及び解決の方向性

(2) 保護者や地域へのメッセージ

(3) その他（学校教育活動全般について）